

分 類：医療・社会・行動科学 IV

授業科目名：人の死・死と法（Forensic Medicine） - 法医学・法医学実習 -

対象学年：4 年次必修

時間割コード：71583010

開設学期等：第 1 週～第 6 週

単位数：1

1. 主任教員

早川 輝（教授、法医科学講座、6092、オフィスアワー：随時（要アポイント））

2. 担当教員

早川 輝（教授、法医科学講座、6092、オフィスアワー：随時（要アポイント））

堀岡 希衣（講師、法医科学講座、6093、オフィスアワー：随時（要アポイント））

大谷 真紀（助教、法医科学講座、6093、オフィスアワー：随時（要アポイント））

矢島 大介（非常勤講師、国際医療福祉大学医学部法医学）

美作 宗太郎（非常勤講師、東北大学大学院医学系研究科法医学分野）

高橋 識志（非常勤講師、弘前大学大学院医学研究科法医学講座）

佐野 利恵（非常勤講師、熊本大学大学院生命科学研究部法医学講座）

林崎 義映（非常勤講師、JA 秋田厚生連 平鹿総合病院）

朝倉 久美子（非常勤講師、日本医科大学法医学教室）

榎野 陽介（非常勤講師、東京大学大学院医学系研究科法医学）

細谷 直（非常勤講師、群馬大学大学院医学系研究科法医学講座）

高橋 遥一郎（非常勤講師、筑波大学医学医療系法医学）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

個体の死について理解し、異状死体の取り扱いについて理解する。また、死体検案について理解し、死亡診断書と死体検案書を作成できる。さらに、関連するプロフェッショナリズム（信頼、誠実、思いやり、省察、倫理）、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM について学ぶ。

概要

1) 死の判定、植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定について理解している。（1-1、2-1、2-7、3-1～3-4、3-7）

2) 異状死・異状死体の取扱いと死体検案について理解している。（1-1、3-2、3-3、3-4、4-2、4-5、4-6）

3) 死亡診断書と死体検案書を作成できる。（1-1、3-2、3-3、3-4、4-2、4-5、4-6）

4) 個人識別の方法を理解している。（1-1、1-2、4-3、5-1～5-4）

5) 病理解剖、法医解剖（司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖）を理解している。（3-2～3-4、4-2、4-5、4-6）

6) 関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM について説明・実践できる。（1-1、2-1～2-4、2-7、3-5～3-7、4-4、4-5、4-7、6-1、6-2）

4. 教科書・参考書

1) 池田典昭・木下博之編「標準法医学 第 8 版」医学書院（2022 年）

2) 福島弘文監修「法医学 改訂 4 版」南山堂（2022 年）

3) 高取健彦監修「NEW エッセンシャル法医学 第 6 版」医歯薬出版（2019 年）

4) 美作宗太郎監修「臨床法医学入門」明石書店（2017 年）

5. 成績評価の方法

統一試験、その他（提出課題、死亡診断書・死体検案書作成実習で作成する書類）などにより、成績を評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- 1) 初回の講義には必ず参加すること。講義はおおよそ指定教科書に沿って進める。
- 2) 講義では、実際の解剖事例・検案事例などを提示する。講義に使用された事例の口外、内容の撮影・録画、SNS を用いた Web アップロード等は厳禁とする。
- 3) 予習は特に必要ない。事前に、配布資料を用意することがある。講義に積極的な参加を求む。
- 4) 各講義後は配布資料で知識を整理し、教科書・参考書を確認するなどして、理解を深めること。
- 5) 担当教員の予定により、若干変更する場合がある。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月6日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：法医学総論 ・病理解剖、法理解剖（司法解剖、行政解剖、死因身元調査法解剖、承諾解剖）を説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
2	4月6日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：死体現象 ・死体現象の種類を説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
3	4月9日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：損傷（1） ・外因死のうち損傷死について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
4	4月9日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：損傷（2） ・外因死のうち損傷死について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
5	4月13日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：損傷（3） ・外因死のうち損傷死について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
6	4月13日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：損傷（4） ・外因死のうち損傷死について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
7	4月16日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：窒息（1） ・外因死のうち窒息について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
8	4月16日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：窒息（2） ・外因死のうち窒息について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
9	4月20日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：小児法医学 ・乳幼児突然死症候群（sudden infant death syndrome SIDS）を説明できる。 ・患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。・児童虐待を概説できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
10	4月20日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：虐待 ・高齢者虐待を概説できる。 ・DV（Domestic Violence）を概説できる。	美作宗太郎	第2病棟多目的室
11	4月22日 (水)	1-2 時限	講義	テーマ：異常環境（熱傷・火災・電撃、等） ・外因死のうち異常環境の熱傷・火災・電撃、等について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
12	4月22日 (水)	3-4 時限	講義	テーマ：死の定義・医と法 ・死の概念と定義を説明できる。 ・植物状態、脳死、心臓死及を説明できる。 ・医師の法的義務を列挙し、例示できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
13	4月23日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：法中毒学（総論） ・外因死のうち中毒について説明できる。	矢島 大介	第2病棟多目的室
14	4月23日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：法中毒学（各論） ・外因死のうち中毒について説明できる。	矢島 大介	第2病棟多目的室
15	4月27日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：内因性急死 ・内因死について説明できる。 ・突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患を列挙できる。	朝倉久美子	第2病棟多目的室
16	4月27日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：異常環境（低体温症） ・外因死のうち異常環境の低体温症について説明できる。 ・トピックス（法医学における低体温症の研究）	堀岡 希衣	第2病棟多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
17	4月28日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：死体検案・死亡診断書・死体検案書 ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。 ・診断書、検案書、証明書（診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書）を説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
18	4月28日 (火)	3-4 時限	実習	テーマ：死亡診断書・死体検案書作成実習（1） ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。・外因死のうち異常環境について説明できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
19	4月30日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：法医画像診断 ・死後 CT 検査の概要・所見を説明できる。 ・死後 CT 検査について、実際の事例紹介を通じて、理解を深める。	榎野 陽介	第2病棟多目的室
20	4月30日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：個人識別 ・個人識別の方法を説明できる。	大谷 真紀	第2病棟多目的室
21	5月1日 (金)	1-2 時限	実習	テーマ：死亡診断書・死体検案書作成実習（2） ・死亡診断書と死体検案書を作成できる。	早川 輝	第2病棟多目的室
22	5月1日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：大規模災害 ・大規模災害時に法医学が担う役割について、東日本大震災での経験の紹介を通じて、理解を深める。	林崎 義映	第2病棟多目的室
23	5月7日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：死体のみかた ・死体検案時に注意すべき死体所見について、実際の事例の紹介を通じて、理解を深める。	高橋 識志	第2病棟多目的室
24	5月7日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：A B O式血液型・DNA多型 ・個人識別で用いられるA B O式血液型に関して、分子生物学的な機序を理解する。 ・トピックス（輸血医学への応用）	佐野 利恵	第2病棟多目的室
25	5月14日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：死後の諸検査 ・死後の諸検査について、実際の事例の紹介を通じて理解を深める。	細谷 直	第2病棟多目的室
26	5月14日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：死後遺伝子解析の法医診断への応用 ・死後の遺伝子解析の紹介を通じて、遺伝子解析が法医学にどのように利用されているかを理解する。	高橋遥一郎	第2病棟多目的室